



東谷地域の東睦野なかよし公園スタート。北陵や大和の公園横 14ヶ所で開催しました。

# まちかどカフェ14か所で「市道の廃止?!なんで」「北部の医療を確保して」...

「市道の廃止?!聞いてないよ」「これから北部はどうなるのや」「病院がなくなる地域やから代わりの医療を確保してほしい」。...。議会や監査、相談など大忙しの2月と3月でしたが、2月28日から定例の「まちかどカフェ・トーク」をスタート。今回、新型コロナウイルスの感染拡大防止や寒さ対策もあって、1か所30分程に短縮し14か所で地域の方々の声を聴かせていただきました。(3月末や4月にも開催予定、計画中です)

いつものことながら、わざわざ来てくださった方、お散歩がてら寄ってくださった方、お連れ合いやお友達を誘って来てくださった方、声が聞こえたかとおおいでの方も。本当にいつもありがとうございます。

「もっと、聴きたいことがあるのに。短すぎる」というご意見も頂戴しました。4月、温かくなったら通常の「まちかどカフェ(60分)」と組み合わせせていきたいと考えています。

今、私たち日本共産党は、全国で「あなたの声をきかせてください」対話・アンケートを行っています。政権交代後の希望ある社会について、「あなたと一緒に考えたい 私たちのくらしとこの国の未来」のリーフレットもお配りしています。100万人の方と対話しようと思気込んでいます。一昨年から取り組んでいる「まちかどカフェ」そのもの。身近な話題や国の政治のこと

聴こえてくる  
声 声 声

医療費 中学卒業まで無料に

- ☺ やっと、こどもの医療費無料化が中学校卒業までいくんやね。もっと子育てに優しい町になってほしい
- ☺ 公園の遊具(こども用)が新しくなって嬉しい。砂場もほしいなあ
- ☺ 公園は、こどもも高齢者も集える遊具や工夫が必要や、人が集まったら防犯上も良い

地域の方からは身近なお話しや要求がいっぱい

7万円でお食事、上級国民?

- ☺ 7万円のお食事代って、どんなんやねん! どれだけ庶民とずれてるねん!
- ☺ 見つかったら謝ればいい、隠す、ごまかす、平気で嘘をつくって、政治家のやること?!
- ☺ もう1回、給付金を出してほしい

新型コロナウイルス感染対策への不安や不信を含め、国の政治に怒り心頭の声続出

診療所までなくすんかいな!

- ☺ 市民の声をきくっていうてるけど、診療所までなくすんかい! 聞きっぱなしかい!
- ☺ この町は、どこでこどもを産むの? せっかく、ここを選んだのに
- ☺ (病院) この場所やから通えるけれど、なくなったら行ける病院がなくなる

(代表的な声を掲載しています)



## 子ども達とグー○タッチ

川西市では、この7月から中学校卒業までの医療費無料化(所得制限あり)や留守家庭児童育成クラブの保育時間延長、医療的ケア児への看護師配置などが実施されます。長年、要求を掲げ、声を上げ続けてきたことが実現へとつながっています。私(黒田)も、マイクで「コロナ危機をのりこえて、ケア(医療・福祉)や教育に手厚い社会を」とお話しさせていただきました。

ピラを取りにきてくれる子ども達、グー○タッチをして激励して下さる方、手を振ったり様々なエールを送って頂いて、保育所がとても身近なものになっていることを実感。温かな陽射しを浴びて、元気を頂戴したひと時でした。

## あまりにも低い国の基準

- \* 4・5歳児は30人に保育士1人
- ☺ フランスでは15人に1人だって
- \* 1・2歳児はひとり当たり床面積(配布ピラより引用) 1.98㎡

「こどもは社会の宝、保育基準引き上げを」

「みんなの声で保育環境の改善を!」~現場の保育士さんらでつくる日本共産党兵庫県保育後援会は2月27日、川西能勢口通路でピラを配りながら市民に訴えました。元保育士の私(黒田)も参加しました。

新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、地域の保育所は子ども達の健やかな成長・発達を保障し保護者の子育てを支える子育て拠点としてがんばっています。政治は、こうした保育所を応援し子育て環境を改善すべきです。

## 低い保育士配置基準

訴えでは、奮闘している保育所等の姿を紹介しながら、一方で保育士の配置や床面積の国の最低基準が、あまりにも低すぎる、保育士等職員確保のためにも賃金や労働環境の改善を、と訴えました。

現在、国基準の保育士の配置は、0歳児だと、こども3人に保育士1人、1、2歳児では6人に1人、3歳児は20人に1人、4、5歳児30人に1人ですが、低すぎます。

## 民間園も支援充実を

川西市の市立の保育所・園では市の独自基準で国基準を上回る保育士を配置していますが、民間園は国基準のままです。

床面積の基準も狭すぎます。

保育需要がどんどん増え、定員を超えて入所しているのに、まだまだ待機児童ゼロになっていません。こどもは社会の宝、未来そのものです。安心して子育てできる環境を整えていくことが喫緊の課題です。